



「おとなになったことを自覚し、みずから生き抜こうとする青年を祝いはげます（国民の祝日に関する法律）」ことを趣旨に、各地で開催される成人式。新成人の門出を祝う成人式が、1月7日、パトリア日田で開催されました。会場には、色鮮やかな振り袖や真新しいスーツなどに身を包んだ新成人が集い、友との再会を喜び合い、旧交を温めています。

今年（平成30年）4月2日から平成10年4月1日生まれの640人が対象で、このうち589人が出席し、節目の日を祝福しました。式典で、原田啓介市長は「大人の仲間入りをされ、法律的にも権利と義務を与えられると同時に、社会の構成員の一員として、自覚と責任ある行動が求められる人生の大きな節目を迎えられました。皆さんには、その若い力と柔軟な発想力、活動の輪や思いを十分に発揮し、これからの日田市のまちづくりへの原動力となることを心から願っています。日田市に生まれたことに誇りを持ち、それが未来に「夢と希望」を抱き、その夢に向かってまい進されることを期待します」と新成人を激励しました。その後、各地区の代表者に成人証書が授与され、二十歳の決意発表や市民憲章朗読などが行われました。

二十歳の決意



中島舜介さん (田島一丁目)

本日は、成人を迎えた私たちの門出に対し、このような盛大な式典を催していただき、誠にありがとうございます。

また、温かいお祝いと激励の言葉をお聞きいただき、来賓の方々及びご出席いただきました皆様に、新成人を代表して心より御礼申し上げます。

私は現在、大分大山町農業協同組合の新開工場で弁当・惣菜部門の責任者として働いています。その中で、自分がこれまで多くの人に支えられていたことを日々実感しています。そして、現在も様々な人に支えられ、背中を押されることによって、責任ある仕事ができていると確信しています。

これまで支えていただいた方々に感謝し、またこれから支えてくださる方々のためにも、力強く一歩一歩確実に自分の歩みを進め、少しづつ、ほんのわずかでも恩返しをしていきたいと考えています。

さて、昨年7月の未曾有の災害で、たくさんの方が大変な思いをしています。しかし、そういう状況でも、

皆で助け合って一日でも早い復興を願っている方々を見てみると自分も何か一つでも復興の助けができないかと思ひ募金など小さいことですが行っています。

新成人の皆様も何か一つ小さなことでも人の役に立つようなことをしていただきたいと思います。

最後に、私たちがここに集い、笑顔で成人式を迎えることができるのは、二十年間育て支えてくれた両親のおかげです。心から「感謝」の気持ちを伝えたいと思います。

「ありがとうございます」

この日を忘れることなく、新成人として日々精進していくことを誓い、新成人の決意と抱負とさせていただきます。

本日は、誠にありがとうございます。



宿利ありすさん (丸山二丁目)

本日は、私達は成人式という人生の大きな節目を迎えることができました。私達が成人としての第一歩を踏み出すにあたり、このように盛大な式典を開催してくださいましたことは、私達にとって、一生忘れることのできない感動です。

また、この素晴らしい場所に立てるまで育ててくれた家族、様々な学びを与えてくださった恩師や地域の方々、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

昨年7月の豪雨災害では、テレビで目にする故郷の悲惨な状況に胸が苦しくなりました。しかし帰省するたびに、復興への前向きな気持ちと団結力を感じ、改めて故郷を誇らしく思いました。

そんな日田を離れ、現在は幼少からの夢であった小学校教諭になるために長崎大学で勉学に励んでいます。大学では、国際理解教育や平和について、また海外の教育から学んだことを、これからの日本の教育に生かすための勉強をしています。中でも、より興味を持って勉強していることとして平和教育があります。私が中学生まで何気なく受けていた平和教育が、他県では行われていない事実を知り驚いたからです。現在、私が暮らしている長崎県は被爆地のため、平和についての意識がとても高い様に感じます。身近に平和について触れる機会が多い環境にある私だからこそできることがあるのではないかと考えた時、各国の平和に対する考え方を知り、長崎で得た学びを子ども達に伝えることで、平和に対する自分の意見を持つ子どもを育てたいと考えました。

今も世界中で起こっています。戦争を知らない世代が増え、平和教育が薄れていく中で、今私達にできることは周りの人を大切に、思いやりの気持ちを持つことが平和への一歩になると思います。

最後に、今日まで多くの人に出会い、様々な経験をしてきたことが生きる力となり、今の自分があるのだと思います。これまで両親をはじめ、たくさんの方にお世話になってきましたが、感謝の気持ちをうまく表現できずに過ごしたこともありました。大人になるにつれ自分が発言した言葉の意味も重くなってきました。「ありがとう」と思うだけではなく、言葉や態度で感謝の気持ちを表現し、自分の心を素直に伝えられるようになりたいと思います。そして成人としての自覚を忘れず、責任ある行動と優しい心を持って、名実ともに大人と認められるよう自分を磨き、精進し続けることをここに誓います。